

徳島大学指導

183名が回答 “金属アレルギー”のリアル

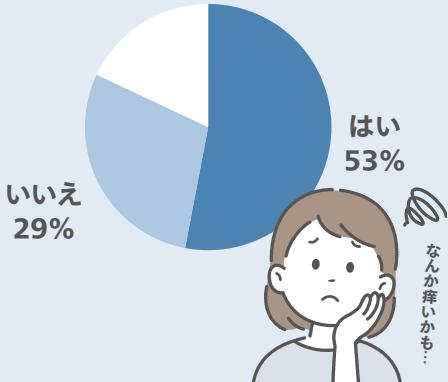
「ネックレスで赤み、ピアスで腫れ…」肌トラブルの実態から肌とおしゃれの共存とは

あなたは金属アレルギーですか？
(金属アレルギーだと思いますか?)

わからない
18%

いいえ
29%

はい
53%



53%が“自覚あり”

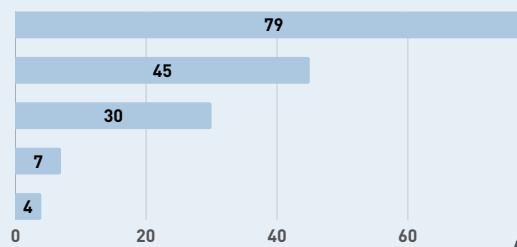
昨今、肌トラブルを避けたいという意識の高まりから、肌にやさしい素材が注目を集めています。レジエ株式会社は、徳島大学監修のもと日常生活に潜む金属アレルギーの実態を把握するため、ECサイトを訪れた男女183名に金属アレルギーとアクセサリーに関するアンケート調査を実施しました。

今回の調査では、回答者の**53%**が「あなたは金属アレルギーですか？(金属アレルギーだと思いますか?)」との質問に「はい」と回答。**ピアスやネックレス、リング、時計**など、日常的に身に付けるアクセサリーによって、かゆみや赤み、腫れなどの症状を経験した方が多數いました。

金属アレルギーに気づいた「きっかけ」で、最多多いのは…？

金属アレルギーに気づいたきっかけはなんですか？

- 装飾品(アクセサリー・時計・眼鏡等)を身につけたら皮膚に異常が出た
- ピアスを付けたら腫れた、または化膿した
- 時計を身につけたら皮膚に異常が出た
- 歯科治療を受けた後、口の中や皮膚に異常が出た
- その他



今回の結果からも分かるように、金属アレルギーのきっかけとして最も多かったのは**アクセサリー**でした。ネックレスや指輪、ピアスなどの装飾品は肌に直接触れる機会が多く、日常的に使用するアイテムだからこそ、異変に気づきやすいとも言えます。アクセサリーはおしゃれや自己表現の大切な一部である一方、こうした肌トラブルのリスクと向き合う必要があります。

身近なアクセサリーでリンパ液、かぶれ…多様な症状に戸惑う声

アクセサリー類で
リンパ液が出る(傷になる)ことが
歯の治療後起こった。

楽器の演奏で
口がかぶれた知人がいる

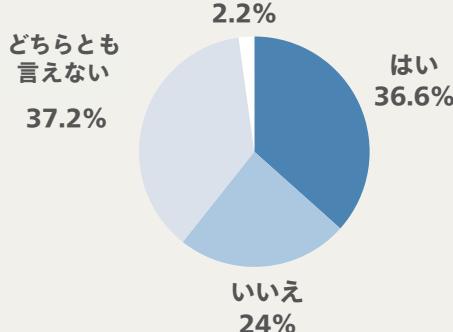
サージカルステンレスでも
アレルギーが出たので驚いた

一見、安心とされる素材であっても**体質や状況**によっては症状が現れることがあります。「何に反応しているか分からない」「不安で素材選びに慎重になる」といった声も目立ちました。**自分に合う素材や、発症のきっかけは人それぞれ**。前日まで問題なく使えていたアクセサリーが、翌日には肌トラブルの原因になることもあります。今後ますます多様化するライフスタイルにおいて、身に着ける素材への関心や配慮は重要性を増していくと考えられます。

金属アレルギーの落とし穴——検査も表示も「不安だらけ」のリアルな声

アンケートでは、**金属アレルギーの検査や情報**に関する不安や課題についても、多くのリアルな声が寄せられました。検査を受けてみたいですかの問い合わせに「はい」と回答した人は**36.6%**、一方で「いいえ（24%）」、「どちらとも言えない（37.2%）」という声も一定数あり、検査への関心は高い一方で、ハードルの存在も明らかになりました。また、素材表示や情報提供のあり方についても、消費者の不安や要望が目立ちました。

金属アレルギーの検査を
受けてみたいですか？



アレルギー検査はしたいが、費用面が不安。
事前に分かれれば大事にならずに済むのに。

金属の割合や
成分がどれくらい
影響するのか知りたい。

皮膚がかぶれた知人がいる。
何に反応しているのか分からず
困っていた。

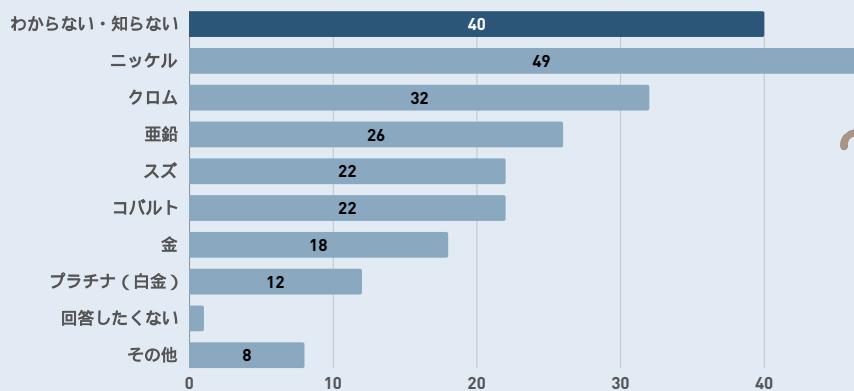
ピアスのポスト素材だけ明記されているが
台座の素材は分からず。
安価な商品には表示が不十分で不安。

金属アレルギーに関する知識と判断材料の不足に悩む声が数多く寄せられました。中でも目立ったのは、素材表示に関する具体的な要望です。ネット通販や安価な商品の普及で素材の確認が難しくなっている一方、アレルギーのリスクは身近なものです。また、アレルギーの発症には**個人差**が大きく、**突然反応が出るケース**もあることから、「検査であらかじめ自分の体質を知っておきたい」という声も。ただし、「**費用**が不安で踏み出せない」といった現実的な課題もあり、より身近で受けやすい検査体制の整備や、正確な情報提供が強く求められているといえます。

実は知られていない？ 金属アレルギーを引き起こす金属、“知らない”が40名

金属アレルギーの人に尋ねてみました！

金属アレルギーを引き起こす金属の種類を知っていますか？ ※複数回答可



金属アレルギーに悩まされる人が増えている一方で、「どの金属がアレルギーの原因になるか」を正確に把握している人は意外と少なことが、明らかになりました。アンケートによると、40名が「わからない・知らない」と回答。一方で、アレルギーの原因金属として最も多く挙げられたのは「ニッケル」(49名)で、次いで「クロム」(32名)、「亜鉛」(26名)、「スズ」(22名)、「コバルト」(22名)などが続きました。「金」(18名)や「プラチナ」(12名)といった高価な金属に対しても、アレルギーの原因として挙げる声が少なからず見られ、必ずしも万人にとって安全とは言い切れないことがうかがえます。

チタンで安心を得たユーザーたちの声

チタン系のアクセサリーは発疹が出ないので嬉しい

肌に触れるものをチタンにすることで安心できている。

チタンは耐腐食性に優れ、汗にも強いため、日常使いに向いている点も魅力です。金属アレルギーの不安から、素材選びに慎重になる人が増える中で、チタンは「肌にやさしい素材」として安心を得られたという声もあり、現実的な選択肢となっていることが分かりました。

専門家による考察



徳島大学大学院 医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野（歯科補綴学第二講座）

細木真紀 先生

日本では現在、約2人に1人がアレルギー性鼻炎など、何らかのアレルギーを発症していると厚生労働省から報告されており、その数は増加傾向にあります。今回のアンケートは、金属アレルギー対応製品に関心を持つ方を対象としており、一般集団における有病率を示すものではありません。しかし本調査では、53%の方が金属アレルギーを自覚しており、金属アレルギーへの関心の高さがうかがえました。

しかし、パッチテストを受けたことがない方や、金属アレルギーについて正確な知識を得る機会がなかった方も一定数います。金属アレルギーにはさまざまなタイプがあり、原因となる金属や症状の現れ方は人によって異なります。アクセサリーが触れた部分だけがかぶれる方もいれば、直接触れていない全身の皮膚や口の中にも発疹が現れる方もいます。アレルギーの重症度にも個人差があるため、できれば皮膚科などの専門医に相談し、パッチテストなどの検査を受けてご自身のアレルギー状態を把握することが大切です。

そのうえで、より安全にアクセサリーを楽しむためには、材料の組成が明確に保証された製品を選び、正しい使い方を心がけることが重要です。ご自身に合った素材を知り、適切な選択をすることで、アレルギーの悪化を防ぐことができます。

安心して身につけたい — 金属アレルギー当事者の声から考える未来

今回の調査を通じて、**金属アレルギーの自覚率が高いこと**、
症状や不安が人によって異なることが明らかになりました。
おしゃれを諦めない社会に向けて、安心してアクセサリーを
楽しむためには、自分自身のアレルギーを知ることに加え、
企業側の素材表示の透明性や肌にやさしい製品開発が求めら
れています。「アクセサリーを自由に楽しめること」は、決
して当たり前ではありません。安心して身につけられること
が、どれほど多くの人にとって切実な願いであるか。このアン
ケート調査は、その声にしっかり耳を傾け、今後の製品開発
や情報発信に活かしていく必要性を示すものとなりました。

また**欧州ではニッケルアレルギーを防ぐため、皮膚に接触する装飾品に対する厳しい「ニッケルフリー」の基準が**
設けられており、欧州規格EN1811でニッケルの溶出量が1週間あたり0.5マイクログラム/平方センチメートル以
下であることが義務付けられています。この基準を満たさない製品はEU域内で販売が禁止され、ニッケルフリー
として安全に販売・流通できるのは、この規格をクリアした製品のみです。日本でもこのような法整備の観点か
らも取り組んでいく必要があると考えます。



調査名	：金属アレルギーに関するアンケート調査
調査方法	：インターネット調査
対象者	：レジエECサイト訪問者
サイト	：直営店 (https://www.leger.co.jp/) 楽天市場店 (https://www.rakuten.ne.jp/gold/titan/)
回答数	：183名
回答者	：10代以上の男女
実施	：レジエ株式会社
指導	：徳島大学大学院医歯薬学研究部 顎機能咬合再建学分野 細木真紀先生

※徳島大学は、調査方法および医学的知識を提供していますが、
特定の製品の効果・効能を推奨または保証するものではありません。